

第84回 番組審議会 議事録

◆開催日時 2016年10月17日(月) 12:00~13:30

◆開催場所 (株)キャッチネットワーク 特別応接室

◆出席者

<委員>

刈谷市：尾間 美喜子委員、安城市：北村 新子委員

知立市：小橋 和昭委員長、高木 一恵委員

高浜市：内藤 靖子委員、加藤 意敏委員

<エフエムキャッチ>

代表取締役社長 森 雅博、代表取締役専務 松永 光司、取締役 倉地 陽一、

アドバイザー 小森 浩司、局長 松本 勉稔、リーダー 勅使河原 正直

◆欠席者

<委員> 碧南市：小串 久美子副委員長、加藤 勝徳委員、

刈谷市：山田 悠貴委員 安城市：田中 直樹委員

◆議事内容

1. 社長挨拶

審議会で利用している評価シートを見ると、番組の評価がとても高く、良い番組が放送できていると感じるが、委員が率直に感じた疑問点などあれば、どんどん質問して欲しい。ネガティブなことでも結構です。真剣にお応えいたしますので、もっと疑問をあげてください。

制作者が気付かないで、間違ったことをしているかもしれません。そこを教えていただけるとより良い番組がお届けできると思います。よろしく願いいたします。

2. 議題1 番組審議

「Pitch Beat Street 838」についての意見交換

<局より委員へ>

この番組は、10代から30代と若い世代をターゲットとしています。通勤・通学の帰りに聴取していただけるよう、交通情報には注視して放送しています。選曲は比較的新曲が多いのが特徴です。また、パーソナリティはワンマンで放送しています。曜日ごとにパーソナリティ独自のコーナーを設定しています。

<委員からの意見>

今までの番組の中で一番聞き取りやすかった。(パーソナリティ:浅井)

対象は若いけど時間帯に関して、いろいろな人が聴ける内容があればいいと思う。

この地域で活動しているアーティストの紹介は良かった。

主婦には食事の支度時間になるので聴取は難しい時間だと思う。

パーソナリティに選曲の個性があると感じた。

夜の映画情報は楽しみの一つになる。交通情報はやはり役立つと思いました。

選曲によっては、食事の支度をやめようかなとも思った。

選曲では自分が10代の時の曲もあったので、懐かしい感じになった。

トーク、曲のバランスが良かった。

内容は個性がでて、パーソナリティのファンが増えると思った。

60代ですが、20代のつもりで聴いてみた。好みもあるのですが、曲が多いのは良かった。

身近な情報が参考になる。美術館の情報があり行きたいと思った。

映画好きなのですが刈谷日劇の情報も欲しい。

ピッチFMのパーソナリティは他の局より聴きやすい。

<局から>

今日の審議では、本番組の理解はいただけたと思います。今後、更に番組品質向上に努めてまいります。

3. 議題2 その他について

昼の番組でマンスリー曲は地元の新人を選んでいるのか。

⇒特に限定はしてなくて、ピッチおすすめの楽曲を選んでいます。

地元のアーティストで良い曲があるときは、選ぶ確率が高いです。

誰が選んでいるのですか。

⇒制作スタッフです。

災害放送時、避難所情報はどういうタイミングで放送するのか。

⇒行政(危機管理課)に問い合わせ発表されていた場合です。

行政から情報が来る場合もある。

⇒行政とは災害協定を結んでいるので、情報提供・共有をしています。

情報を集める手段は？ 一般市民からの情報収集はできるのか。

⇒詳細な情報は市民が一番知っているのだから聞きたいのだが、その情報をどう確認する

か方法を探っています。先日の停電時は、ピッチスポットに参加している人に電話した。

市民と信頼関係ができる情報交換の構築が課題です。

ピッチスポットは信頼できる方なのでいいかんもありません。件数は増えていますか。

⇒徐々に増加しています。番組内の告知を聴いた、お店の方からの申込みが多い。

事務局から

次回日程 2016年12月20日(火) 12:00~13:30

意見交換番組:「What's Up Radio」

以上の議事を進行し、委員長よりエフエムキャッチに対し、「今後も本日の意見を参考にして、より良い番組作りを進めてください。」とのことばをいただき閉会しました。

以上